

長門の食と海と人を満喫し隊

長門「夢・つなぎ塾」では、10月5日（土）、6日（日）に「長門の食と海と人を満喫し隊」を実施しました。小学生9名、中学生1名が参加し、野外炊事やテント泊、シーカヤックや、大学生や他校の友達とのふれあいなど様々な体験活動を行いました。そこで、各種活動から子ども達を感じ、考え、学んだことを当日の様子とともにまとめました。

今回の活動を実施するにあたり、深川養鶏農業協同組合の末永様、山口大学教育学部の学生の皆さん、油谷青少年自然の家の職員の皆さん、他たくさんの方々に御協力いただきました。本当にありがとうございました。

Q. 1 活動に参加して、一番印象に残ったことは何でしょうか？



初めて体験する、長州鶏のさばきに驚きの声！

●【長州鶏のさばき体験】

- ・班のみんなで協力して長州鶏をさばくことができたし、みんなでやりとげられた感じがしたから一番印象に残りました。
- ・みんなで協力して、楽しくおいしく食べることができた。さばくときに自分が困っていたら、みんなが助けてくれた。
- ・鶏さばき体験が、とても楽しかったです。さばいた鶏肉は、とてもおいしかったです。

・みんなで協力して、鶏をさばいたので心に残りました。僕がお肉を切っているときに、仲間がお肉を持ったり教えてくれたりしてくれました。

●【10代（だった人も）しゃべり場】

- ・将来の夢や、いろいろなことをみんなと話すことができて楽しかったです。
- ・ふだんは聞けない、大学生や大人の人の子どもだった頃の将来の夢が聞けたので良かったです。
- ・他校の友達が、「宮大工になる」と語っていたりいろいろな夢を聞いたりすることができて、めざす道はいっぱいあるんだなと思った。

●【シーカヤック体験】

- ・1日目よりも、班のみんなと協力できた。シュウマイ島が印象的だった。
- ・海に入って、久しぶりにびしゃびしゃになるのが楽しかった。
- ・くうちゃんが穴をほったら、何かが出てきたから印象に残った。
- ・シュウマイ島まで、みんなで行ったことが心に残りました。



油谷湾に漕ぎ出します！！

Q. 2 一泊二日の活動をとおして、自分が成長したところはどこだろう？

・他の学校の人や、ちがう学年の人とは明日ことができるようになったことと、積極的に活動できるようになったことです。

- ・最初は無口だったけれど、活動をしていくうちに、自分から話ができるようになりました。自分から、笑いを広めることができました。
- ・自分から、進んで仕事を見つけることができたこと。
- ・最初は、班の人といることが不安だったけれど、自分から話をしたり班のみんなの話を聞いたりすることができたこと。
- ・指示をされたことをすぐにやって、話を聞いたら「はい!」とすぐに返事ができるようになったこと。
- ・年に1回はしているテント設営も、今回はいろいろな小学生、中学生の人たちと一緒にやれたし、いろいろな人との交流がこれからも大切なんだと分かりました。
- ・与えられた仕事をちゃんとやれたところが、レベルアップ的な感じがした。
- ・友達と協力して、テントを張れたこと。
- ・協力する中で、一人では無理なことがあるということを実感した。
- ・包丁を使って、野外炊事にチャレンジできたこと。



協力してテントを張ります！

Q. 3 活動を振り返って感じたこと、考えたこと、学んだこと、発見したことまとめ



ダッチオーブンでの調理！！

活動全体を通して

- ・初めは、みんなと話ができるか心配だったけれど、いろいろな活動をとおして仲良くなれた。
- ・みんなで笑顔になれたので、楽しかったです。
- ・班の人と、活動をとおして仲良くなれたし、よくしゃべることができた。
- ・シーカヤックで、前やった時よりも上手くこぐことができてうれしかった。
- ・最初は、同じ学校の友だちと違う班になったのでだなあと思ったけれど同じ班の人たちが楽しくてうれしかった。

- ・いろいろな人たちと、交流できるようになれたことがうれしかったです。(複数)
- ・生活をするためには、いろいろな準備が必要だと分かった。
- ・鶏のさばき方が、分かりました。

長門の人や自然とのふれあいを通して

- ・薪割りをしたことがなかったので、貴重な体験ができました。
- ・長門の食材を使った、ジャンバラヤなどの料理がとてもおいしかったです。
- ・長門って、思っていた以上に自然を満喫できるんだなあと思いました。
- ・長門のご飯が、とてもおいしかったです。



薪割りもだんだん上手にできるようになりました！

- ・鶏肉をさばくと聞いて初めはこわかったけれど、実際にさばいてみると、よく見る形になったので良かったです。
- ・鶏肉の生肉をさわるのは初めてだったけれど、焼いて食べたらとてもおいしかったです。
- ・みんなで、鶏肉をさばいて食べるとおいしかったです。やまさんのご飯や、まっちゃんとゆうちやみのカレーもおいしかったです。
- ・焼くのが楽しかった。焼き鳥もおいしかった。
- ・鶏のさばき方やシーカヤックのこぎ方などあまり分からなかったけれど、活動をとおしていろいろなことを知ることができた。

他校の友達・実行委員との交流を通して

- ・はじめは、なかなかコミュニケーションをとることができなかったけれど、協力したり活動と一緒に楽しんだりする中で、すごくしゃべることができた。
- ・大学生との関わりの中で、自分の好きなことを大切にすることが大事だと感じました。
- ・違う学校の人と、たくさん話したことが楽しかった。
- ・みんなで仲良くふれあえたことで、楽しく活動できた。これからも続けていきたい。
- ・年上の人の前だと緊張してしゃべることができなかったけれど、二日目はしっかりと関わることをできたので良かったです。
- ・初めは不安な気持ちが多かったけれど、交流を深めていくうちにどんどん楽しくなった。
- ・みんなでシーカヤックに乗れたことが、とても楽しかった。
- ・長門には、優しい人がいっぱいいるんだということが分かった。
- ・大学生や実行委員のみなさんと話す中で、いろいろ夢が変わっていいんだということが分かりました。
- ・最初、なかなかしゃべることができなかった人とも仲良くなることができました。



初めの硬い表情はどこへやら！笑顔がたくさん！

Q. 4 今回の経験から、今後の学校生活や家庭生活につなげて(活かして)いくことを書いてみよう！

- ・もっと、自然や食に興味をもって関わっていきたいです。
- ・家で、いろいろな手伝い（特にご飯を作る）をしたいです。
- ・学校などで、友だちともっと話してみようと思いました。
- ・学校で、友だちと協力したり助け合ったりしたいです。
- ・今回の活動をとおして、お母さんにいろいろなことをやってもらっているということが分かったので、自分ができるところを見つけ、自分から進んで手伝いをしていきたい。



おいしくな〜れ！（おいしくなる呪文）

- ・だまっていなくて、自分から積極的に話そうと思いました。また、返事もしっかりと行ってきたいと思います。
- ・何にでもチャレンジすることが大切だということが分かりました。まずは、やってみる！
- ・協力し合うことが大切だと思いました。学校生活では、クラスメイトと協力していきたいと思いました。
- ・学校生活では、仲良くなりたい人やまだ友達じゃない人にも、自分から話せるようになりたいと思いました。

長門「夢・つなぎ塾」山口大学教育学部生

令和6年度 ～長門の食と海と人を満喫し隊を終えて～

《山口大学教育学部 4年 岩本 宗》

今回、長門の食と海と人とを子どもたちと共に満喫した2日間を過ごさせていただきました。シーカヤックで油谷の海を旅したり、長州鶏を調理したりといった経験は、学校では体験することのできない特別な時間でした。特に、「10代しゃべり場」の時間では、子どもたちと「夢」について語ることをとおして、自分もたくさんの夢を叶えられるような人になりたいと考えようになりました。

短い期間の中で、濃密で特別な体験ができる方がキャンプの醍醐味と信じ、4年間キャンプを企画したり参加したりしてきました。大学院に進学した後も、長門市の子どもたちのために引き続き長門「夢・つなぎ塾」に貢献したい気持ちです。また、やまさんのスープも飲みに行かせてください（笑）

今回も、本当にお世話になりました。また、参加できることを楽しみにしています。

《山口大学教育学部 4年 佐藤 誠司》

今回の長門「夢・つなぎ塾」を通して、私が感じたこと・学んだことは2つあります。1つ目は、長門の自然の豊かさです。私自身、長門市への知見が深いわけではなかったのですが、子どもたちと同じ視点で食材の旨味を楽しんだり、海の広大さを感じたりしました。特に百姓の塩は粒が非常に大きく、塩味をストレートに味わうことができる非常においしい塩でした。

2つ目は、子どもたちの関係づくりについてです。はじめはお互いに様子を伺い合っていて、班としてどのような成長ができるのだろうかと不安に思っていたのですが、些細なきっかけからお互いに興味を示し合い、関係が構築されていた場面が散見されたので、子どもたちの関わりを作るために特別なことをするよりも、話すきっかけを自然と作ることが求められるのではないかと思います。

《山口大学教育学部 4年 神原 由菜》

今回、長門「夢・つなぎ塾」に初めて参加をしてみて、学校現場だけではなく地域の中で子どもたちが楽しく活動することの大切さを実感しました。特に、今回は地元の子供たちが改めて地元のよさを知るということで、2日間の中で、「おいしい」「楽しい」「おもしろい」など多くの発見があったのではないかと思います。

また、宿泊を子どもたちとともにして、子どもたちの変容を見とることもできました。最初は班の輪の中に入ることに緊張していた様子でしたが、徐々に声が大きくなったり発言が増えたりしていました。このようなことから、今回は班のサポートとしてでしたが、教師として子どもに

どう接するべきなのかについても学ばせていただきました。特に、まっちゃんが「ここは子どもたちだけで考えてみて」など、私たち大人が介入する場面としない場面を作られていて、教師として子どもの成長をどう促していくのが大切だと思いました。私なりに、改めて教育に携わりたいと思う機会となりました。2日間、本当にありがとうございました。

《山口大学教育学部 4年 林 芙美那》

私は、今回初めてこのようなイベントに参加しました。テントを張るのも初めてだったし、子どもたちと泊まることも初めてでした。初めてのことがたくさん2日間でしたが、とても楽しかったです。

特に心に残っていることは、子どもたちとの関わり方の変化です。初めて会った時は、班のみんな緊張していてとても静かだったけれど、終わる頃にはたくさんお話できるようになっていて、2日間でも関係作りができるし、こんなにも変化が見えることに驚きました。自分が先生になってからも、子どもたちと適度にたくさん関わって、早くよい関係を作り、楽しい学校生活を送っていきたいと思いました。貴重な体験を、ありがとうございました。

長門「夢・つなぎ塾」実行委員

令和6年度 ～長門の食と海と人を満喫し隊を終えて～

《長門「夢・つなぎ塾」実行委員長 山下 茂生（やまさん）》

今回の企画の「食」では、深川養鶏農業協同組合から提供いただいた「長州鶏」をメインの食材とした野外料理に挑戦しました。丸鶏を自分たちで解体・調理して、ダッチオーブンを使っての煮込み料理を作ったり、自分たちで鶏肉と野菜を串に刺して焼き鳥を作ったりしました。どちらも、とてもおいしくいただきました。また、地元油谷湾の海水から精製した百姓庵の「塩」を調味料として使用しました。

「海」は、油谷湾でのシーカヤック体験をしました。1日目は天気は良かったのですが、風がありシーカヤックは難しいかと思われていたのですが、2日目は天候は曇り空でしたが風がなくシーカヤックを実施することができました。長門の海をシーカヤックで満喫することができました。

そして今回の新しい企画である「人」は、長門出身者を含む大学生や長門を愛する昔子どもだった大人たちと子どもたちとの「しゃべり場」を設けたことです。今までも、活動しながらや活動の合間時間にいろんなことを話し合っていたのですが、今回は焚火を囲んで、「夢」をテーマに語り合う時間を特設しました。大学生や大人の子どもの頃の夢や今の夢、そして、その夢の実現に向けて取り組んだことやその様子などを熱く語ってもらいました。話を聞いた子どもたちは熱心に聞いており、興味のあることについて質問する子もいました。また、参加した子どもたちも、自分の将来の夢や今の様子・悩みなどを話しました。それに対して、大人たちから感想やアドバイスをもらっていました。

今回の「長門の食と海と人を満喫し隊」は、長門「夢・つなぎ塾」の事業のねらいとしているふるさと長門を支えるリーダーの育成や、夢の実現に向かって前進していくたくましい子どもの育成につながるものであったと確信しています。

《下関市立桜山小学校 教頭 松永 茂樹（まっちゃん）》

はじめましての班ミーティングでは、初めて会う友達との関係でみんなよそよそしく、なかなか

かコミュニケーションをとることが難しいなあと感じていました。しかし、いろいろな活動をと
おして、徐々に自分の素の部分の解放を始め、声もだんだんと大きくなり、野外炊事をする頃
には笑顔でいろいろな話をするできるようになりました。

長門の豊かな自然の中で、学校では体験することのできない活動にチャレンジすることで、大
きく成長できたのではないかと思います。この体験を生かして、各学校でいろいろなことにチャ
レンジをしていってほしいと思います。そして、これからも長門のいろいろな「よさ」を発見し
て味わってほしいと思います。

また、みなさんに会えるのを楽しみにしています。

《長門市立深川小学校 教諭 山村 千恵（ぱっちゃん）》

最初は、初めて出会う友達。大学生のお兄さん、お姉さん。知らない先生。そんなメンバーを
前にして、「リーダー決めるよ。」「・・・」「タイムキーパーは誰がする？」「・・・」誰も
何もしゃべらない。話が一向に進まない。大丈夫かなあ・・・と不安を感じるスタートでした。
それなのに、一つ一つの活動を共にする度に距離がどんどん縮まって、冗談を言ってぎゃはは！
と笑い合える仲間になりました。長州鶏一羽まるまるをさばく時は、今回は教えてくださる方が
おらず、写真と短い説明文を読みながらの手探りでしたが、それがかえってみんなの距離を縮め
たかもしれません。ああでもない。こうでもない。とみんなで試行錯誤を繰り返しながら、見事
に(?)さばくことができました。そして、いただいた焼き鳥や鍋が本当においしかったです。

1日目の終わり、大学生も交えての「しゃべり場」は、普段、本音を話さない（話せない）子
どもたちにとって、貴重な体験となったのではないのでしょうか。1日で、こんな話ができるよう
な仲間になったんだなあ・・・と感慨深かったです。

こんな素敵な場に同席させていただきうれしかったです。本当にありがとうございました。

《油谷青少年自然の家 指導員 鶴田 隆通（ジム兄）》

長門の食、海は全国でも特に優秀であり、私自身もこの食や海に惚れて移住した一人です。この
食や海について、子どもたちが少しでも関心をもち、よさを分かってもらえたらいいなと思い、参
加させていただきました。

一日目の長州鶏を解体、さばいていく姿は、最初こそおっかなびっくりでしたが、だんだんコツ
をつかみ、たくましく包丁を入れていく姿に、感動を覚えました。ダッチオーブンで煮込んだ鶏は、
過去最高の出来だったと思います。

二日目のシーカヤック、今までの班より少ない2～3人のグループで乗ります。よくあるパター
ンは、ここでペアが決まらずに右往左往することですが、すでに1日過ごし、仲が良くなっていた
ためか、スムーズにグループが作れ、シーカヤック体験に入ることができました。操縦技術、特に
ペアの協力が必要なシーカヤック。乗り始めてすぐに協力体制ができ、ツーリングに乗り出せまし
た。程よく風も治まっておりましたので、油谷湾を存分に味わうことができたのではないかと思
います。

それぞれいろいろな感情を抱いて始まり、不安の中で1日目に集合したと思います。それが、1
泊2日という短い期間で楽しい思い出に変わり、笑顔で帰っていく姿を見られてとても良かったで
す。

最後に、子どもたちに「この1泊2日でやったことや感じたことを保護者の方へ語ってください」
と宿題を出しました。第三者に伝えるためには、自分の中で十分に整理し、相手のことを思いなが
ら話す必要があります。きっと語っていく中で本人も振り返りができ、自分の体験として記憶に刻

まれていくと思います。できる限り、熱のこもった子どもたちの声を聴いていただければ幸いです。

《長門市立向陽小学校 教諭 田中 翔大（ゆずきち）》

長門の鶏を使った料理では、初めて触れるであろう丸鶏にも臆せずどんどんと解体を進め、班で協力してダッチオーブンを使った蒸し鶏を堪能しました。とってもおいしかったです。

2日目には、シーカヤックに乗り油谷湾に繰り出しました。初めは進むのに四苦八苦している様子でしたが、みるみるうちに上達し、シーカヤックでのツーリングに出るまでに成長しました。何より、たった2日間ではありましたが、長門の食と海をとおしてあっという間に仲良くなり、協力し合える関係になれた子どもたちの力に感動しました。

今回参加してくれた子どもたちには、ここで学んだこと、感じたことをそれぞれの学校でも生かし、学校の中でもリーダーとなる存在になってくれることを期待しています。そして、長門の恵に感謝します！

《長門市教育委員会 地域連携教育推進課 社会教育主事 藤本 悠司（事務局）》

「長門って最高ですね！」と、目をキラキラさせながら話をする子ども達。まさに「満喫」したからこそ実感することができたのだと思います。2日間をとおして、学校では味わうことのできない大変貴重な経験をすることができました。私自身、油谷の中畑地区出身で、小さい頃から食や自然に親しんできたつもりでしたが、まだまだ長門の食と自然は奥深いなあと感じました。

そして、何よりも長門の「人」のすばらしさを感じる2日間でした。大学生や実行委員との出会い、活動の中で深まる友だちとの絆、焚火を囲んで夢について語り合った時間、いろいろな人たちとの関わりの中で、子どもたちがどんどん成長していく姿に感動すら覚えました。

今回の活動のように、初めてのことや初めての人と関わる際には勇気が必要です。しかし、勇気を出してチャレンジをする子どもたちが減ってきているなあと実感しています。今回の活動に参加した子ども達は、大切なことをたくさん感じることはできたのではないかと思います。この経験を生かして、学校生活でもいろいろなことにチャレンジしていったほしいと思います。

さて、令和6年度の長門「夢・つなぎ塾」の活動も残すところあと1回。次回は、冬に予定しております、「十種ヶ峰で冬山を満喫し隊」です。今回の活動を、次の活動へつなげ、さらに発展していきたいと考えています。今後の活動への積極的な御参加を、心よりお待ちしております。

最後になりましたが、今回の活動に御尽力いただきました全ての方に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

～活動の足跡～



アイスブレイクで自然と笑顔に！！



一人ひとりの役割を決めます！



どうやって組み立てるんだったっけ？



ペグの打ち方も上手になりました！



何もないところに、みんなで力を合わせてテントを張ることができました。



初めて見る丸鶏のさばきにチャレンジ！！



「こうやったけ？」「おっ、イイ感じ！」自然に会話が生まれ、みんなの絆も深まります！



野外炊事、役割を決めて作ります！！



自分の焼き鳥は、自分で焼きます！！



ランタンと焚火の中で、班のみんなと
いろいろなことを語ります！



だんだん日も暮れてきて、夕暮れの中での晩ご飯
でした。自分たちで作った料理、最高！！



温かい飲み物片手に、焚火を囲みながら、班の友達
や大学生、実行委員と夢について語りました！



「10代しゃべり場」で感じたこと、考えたことな
どを、みんなの前で発表しました！！



一日の振り返りと、翌日の目標を立てました。班のみんなや自分との対話をする時間です。





朝食は、自分で作るホットサンドイッチ！
焼き加減が重要！チーズとろーり！



自然の中で食べる自作のホットサンドイッチ、
最高でした！！



いよいよ、待ちに待ったシーカヤックです！
ジム兄の話を真剣に聞いています！！



パドルの使い方を練習します！
前進、旋回、停止の仕方を学びます！



さあ、いよいよ海へ漕ぎ出します！！
いってきま〜す！



右、左、右、左。
声と心を合わせて漕いでいきます！



ジム兄のところまで競争だ！！



シーカヤックの後のカレー、うまし！！



自分の成長を、堂々と発表しました！！



最後の振り返り、みんな充実した顔です！



長門の食と人と海を満喫！